



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東  
 コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部門担当兼経営戦略室長 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	75,008	△10.5	1,645	△45.5	1,790	△43.3	1,667	△25.6
2020年3月期第2四半期	83,833	△7.1	3,021	△6.4	3,157	△11.7	2,242	△7.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,262百万円(101.3%) 2020年3月期第2四半期 1,620百万円(△9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	66.09	—
2020年3月期第2四半期	88.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	111,182	72,623	65.3
2020年3月期	113,432	69,966	61.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 72,623百万円 2020年3月期 69,966百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2021年3月期	—	17.00			

(注) 2021年3月期の期末配当につきましては、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算出することが困難であることから未定とし、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算出することが困難であることから未定とし、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	26,025,242株	2020年3月期	26,025,242株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	787,525株	2020年3月期	787,366株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	25,237,789株	2020年3月期2Q	25,238,142株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、長引く米中貿易摩擦やオリンピック需要の一段落で減速局面にある中、新型コロナウイルス感染症が経済活動全般に大きな打撃となり、大変厳しい状況で推移しました。

当社企業グループの主要顧客である半導体・液晶などの電子部品製造装置関連や自動車関連などの製造業においても、設備投資の低迷や先送りに加え、生産調整が長引くなど停滞感が続いております。

このような状況下にあつて、当社企業グループは、新型コロナウイルス禍の中で、「人命の安全・安心」を最優先とした感染防止策を徹底しながら、お客様への商品の供給とサービス活動を継続するとともに、技術商社としてロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズへの対応や3Dプリンターによる新しいものづくり技術の蓄積など、将来につながる投資を積極的に実行してきました。また、本年4月に子会社化した株式会社立花電子ソリューションズについてもグループ内でのシナジー効果が出てきました。こうした取組みに加えて、コロナ禍への緊急対応を契機として、オンライン・デジタル化などの必要投資は積極的に実行しつつも経費の抑制に努めたことで、一定の利益を上げることができました。

以上の背景から、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高750億8百万円（前年同期比10.5%減）、営業利益16億45百万円（前年同期比45.5%減）、経常利益17億90百万円（前年同期比43.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億67百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

なお、上記の業績には、八洲電子ソリューションズ株式会社の株式取得における負ののれん発生益3億95百万円を特別利益として計上しております。

セグメント別については以下のとおりであります。

#### 〔FAシステム事業〕

売上高:414億97百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益:12億51百万円（前年同期比41.7%減）

自動車関連及び半導体・液晶などの電子部品製造装置の設備投資の減退により、FA機器分野はプログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボ及び配電制御機器は減少しましたが、事業を挙げて取り組んできたセンサーを含めた制御システム機器は物流向けの需要が増加して伸長しました。

産業機械分野においても、工作機械及びレーザー加工機は減少しました。また、産業デバイスコンポーネント分野においては、タッチパネルモニターやコンピューター周辺装置は減少しましたが、鉄道向けにFAパソコンは伸長しました。一方、鉄鋼プラントは更新需要の一巡により大きく減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比15.2%の減少となりました。

#### 〔半導体デバイス事業〕

売上高:252億65百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益:3億37百万円（前年同期比45.8%減）

国内では、電子部品の落ち込みにより、半導体分野はマイコン、ロジックIC及びパワーモジュールなどが減少し、電子デバイス分野においても、液晶パネル及びメモリーカード、密着イメージセンサーが大きく減少しました。一方、海外では、特に香港、シンガポールにおいて、顧客の電子部品調達の需要に機を逃さず対応できたことで前年並みの水準を確保できました。また、本年4月に子会社化した株式会社立花電子ソリューションズも加わり、当事業全体の売上高は、前年同期比5.6%の増加となりました。

#### 〔施設事業〕

売上高:63億2百万円（前年同期比26.7%減）、営業利益:38百万円（前年同期比84.8%減）

施設事業では、夏場の厳しい暑さに加え、特別定額給付金や巣ごもり需要によりルームエアコンは伸長し、更新需要を受けてエコキュートや電気温水器などオール電化製品も堅調に推移しました。一方、オリンピック開催予定年で案件が一段落しているところに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、多くの施設で更新案件が延期や中止になり、店舗用パッケージエアコン、ビル用マルチエアコンなどの空調機器及び昇降機、発電設備、LED照明は大幅に減少し、コロナ対策を含む短納期商材の拡販に努めるも業績を下支えするまでには至らず、当事業全体の売上高は、前年同期比26.7%の減少となりました。

## 〔その他〕

売上高:19億42百万円(前年同期比18.7%減)、営業利益:19百万円(前年同期比355.5%増)

MMS分野は、流通向けラックビジネスは伸長しましたが、立体駐車場向け金属部材については、案件の減少により低調に推移しました。

EMS分野は、ポンプ用モーターの制御基板など一部に好調な分野もありましたが、プラットホーム可動柵については、コロナ禍の影響を受けて工期延伸となったことから低調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比18.7%の減少となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,111億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億50百万円減少いたしました。

流動資産は、835億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億37百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少93億30百万円、たな卸資産の増加32億3百万円であります。

固定資産は、275億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億86百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券の増加24億74百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、385億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億7百万円減少いたしました。

流動負債は、353億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億42百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少51億79百万円であります。

固定負債は、31億88百万円となり前連結会計年度末に比べ7億35百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、726億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億56百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加10億62百万円、その他有価証券評価差額金の増加17億22百万円であります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、158億31百万円となり前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、37億22百万円の収入(前年同期は7億36百万円の収入)となりました。主な内容は税金等調整前四半期純利益21億86百万円、売上債権の減少額117億24百万円などの増加とたな卸資産の増加額26億52百万円、仕入債務の減少額59億19百万円などの減少であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、21億87百万円の支出(前年同期は17億7百万円の支出)となりました。主な内容は定期預金の増加による支出15億43百万円などであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、13億79百万円の支出(前年同期は9億98百万円の支出)となりました。主な内容は短期借入金の減少による支出8億11百万円、配当金の支払額による支出5億95百万円などあります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算出することが困難であることから未定とし、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,117	18,719
受取手形及び売掛金	57,190	47,859
たな卸資産	11,703	14,906
その他	2,470	2,141
貸倒引当金	△59	△42
流動資産合計	88,422	83,585
固定資産		
有形固定資産	5,201	5,152
無形固定資産	431	502
投資その他の資産		
投資有価証券	18,185	20,660
退職給付に係る資産	284	318
その他	994	1,050
貸倒引当金	△88	△87
投資その他の資産合計	19,377	21,942
固定資産合計	25,009	27,596
資産合計	113,432	111,182
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,183	28,003
短期借入金	1,548	2,078
未払法人税等	848	610
賞与引当金	1,089	874
その他	4,343	3,802
流動負債合計	41,013	35,370
固定負債		
長期借入金	71	55
退職給付に係る負債	652	712
その他	1,729	2,420
固定負債合計	2,452	3,188
負債合計	43,466	38,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,999	6,999
利益剰余金	53,595	54,658
自己株式	△894	△894
株主資本合計	65,575	66,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,004	5,726
繰延ヘッジ損益	△7	△0
為替換算調整勘定	198	94
退職給付に係る調整累計額	195	164
その他の包括利益累計額合計	4,390	5,985
純資産合計	69,966	72,623
負債純資産合計	113,432	111,182

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	83,833	75,008
売上原価	72,301	65,087
売上総利益	11,531	9,921
販売費及び一般管理費	8,510	8,275
営業利益	3,021	1,645
営業外収益		
受取利息	59	50
受取配当金	181	180
その他	85	127
営業外収益合計	326	358
営業外費用		
支払利息	10	12
為替差損	76	98
売上割引	90	82
その他	13	19
営業外費用合計	191	213
経常利益	3,157	1,790
特別利益		
投資有価証券売却益	90	—
負ののれん発生益	—	395
特別利益合計	90	395
税金等調整前四半期純利益	3,248	2,186
法人税等	1,005	518
四半期純利益	2,242	1,667
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,242	1,667

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,242	1,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△463	1,722
繰延ヘッジ損益	△4	7
為替換算調整勘定	△122	△103
退職給付に係る調整額	△31	△31
その他の包括利益合計	△621	1,594
四半期包括利益	1,620	3,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,620	3,262
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,248	2,186
減価償却費	182	215
賞与引当金の増減額(△は減少)	△287	△282
負ののれん発生益	-	△395
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△18
受取利息及び受取配当金	△240	△231
支払利息	10	12
為替差損益(△は益)	22	18
投資有価証券売却損益(△は益)	△90	-
売上債権の増減額(△は増加)	9,469	11,724
たな卸資産の増減額(△は増加)	△412	△2,652
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,652	△5,919
その他	△523	△415
小計	1,725	4,241
利息及び配当金の受取額	253	253
利息の支払額	△10	△12
法人税等の支払額	△1,231	△760
営業活動によるキャッシュ・フロー	736	3,722
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,506	△1,543
有形固定資産の取得による支出	△174	△75
有形固定資産の売却による収入	1	-
投資有価証券の取得による支出	△219	△20
投資有価証券の売却による収入	90	-
有価証券の償還による収入	200	-
投資有価証券の償還による収入	-	50
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△458
その他	△99	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,707	△2,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△380	△811
長期借入金の返済による支出	△6	△6
長期借入れによる収入	-	40
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△605	△595
その他	△6	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△998	△1,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85	△81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,055	74
現金及び現金同等物の期首残高	13,638	15,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,582	15,831

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに子会社とした株式会社立花電子ソリューションズを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,913	23,930	8,598	81,442	2,390	83,833	—	83,833
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	48,913	23,930	8,598	81,442	2,390	83,833	—	83,833
セグメント利益(営業利益)	2,144	622	250	3,017	4	3,021	—	3,021

(注)「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	41,497	25,265	6,302	73,065	1,942	75,008	—	75,008
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	41,497	25,265	6,302	73,065	1,942	75,008	—	75,008
セグメント利益(営業利益)	1,251	337	38	1,626	19	1,645	—	1,645

(注)「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。